

学力向上フロンティアスクール用中間報告書

都道府県名 富 山 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	魚津市立本江小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	19
児童数	58	56	78	52	60	63	1	368	

研究の概要

1. 研究主題

目 当 て を も ち 、 意 欲 的 に 学 び 合 う 子 ど も の 育 成
 - 基礎・基本の定着を目指した指導法の工夫 -

2. 研究内容与方法

(1)実施学年・教科

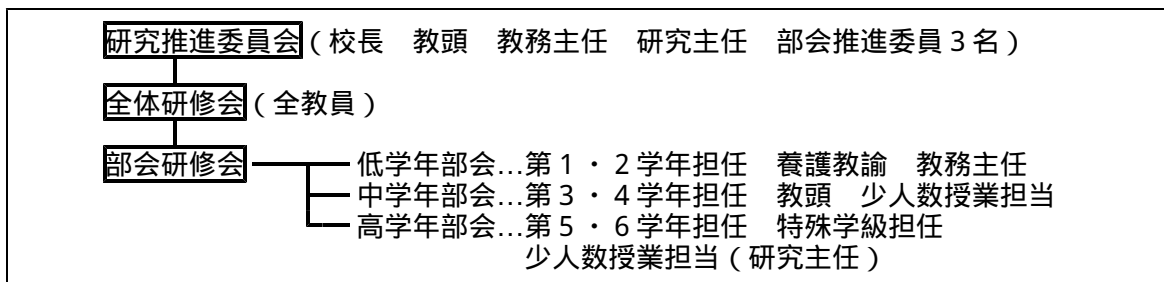
第1～6学年の算数科（系統的に学習を積み重ねる教科であり、学習内容の理解度や定着度に大きな個人差があるので、少人数指導が必要であると考えたため）

(2)年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着を目指した指導法の工夫</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導方法・指導体制を工夫改善し、多面的な児童理解を深め、意欲的に学習する子どもを育てる。 個に応じた教材開発、きめ細かな支援により、基礎・基本の定着を図る。 <p>研究の内容・方法</p> <p>実施学年・教科</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1・2学年 生活：学年合同学習 第3～6学年 算数：少人数授業 <p>指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 少人数学習集団編成の工夫と少人数授業の実施（算数） <p>学力の評価を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の吟味と評価方法の検討 学力の実態調査（全学年、算数）
平成15年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着を目指した指導法の工夫</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多面的に児童理解を深め、個に応じた指導形態や指導方法を工夫改善することによって、分かる喜びを体得させる。 評価規準を見直し、目標に対する一人一人の子どもの学習状況を評価し指導に生かすことによって、基礎・基本の定着を図る。 <p>研究の内容・方法</p> <p>実施学年・教科 *加配が1名増えたため、対象学年を拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年 算数（第1・2学年：TT、第3学年以上：少人数授業） <p>指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習を目指す一人一人の子どもへの支援の在り方 教科担任制の拡大（第2学年～第6学年）と意識調査の実施 <p>学力の評価を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 県小教研究学力調査、教研式標準学力調査CRT（目標基準準拠検査）等の結果の分析に基づく指導の改善（全学年、算数） 補助簿、評価規準の見直しと評価に関する事例研修会の開催

平成16年度	<p>テーマ 主体的に基礎・基本の定着を目指す指導法の工夫 研究の見通し（仮説）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力の評価に重点を置き、具体的な評価規準に基づいた学習状況の見取りと支援の在り方について研修を進める。 3年間の少人数授業の実践を踏まえて、算数科年間指導計画、評価規準を試案としてまとめる。 <p>研究の内容・方法 実施学年・教科</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年 算数（第1・2学年：T T 第3学年以上：少人数授業） 第4学年 国語（少人数授業） <p>教材開発</p> <ul style="list-style-type: none"> コースや個に応じた補充的・発展的な要素を加味した教材の開発 <p>指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習を目指す一人一人の子どもへの外部講師も含めた支援の在り方 算数科年間指導計画試案の作成（学習形態、教材、評価） 教科担任制の見直し（第5・6学年、低・中・高学年内） <p>学力の評価を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践に基づく評価規準試案の作成（全学年、算数）
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 指導体制・指導方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> T Tによる指導・支援は、一人一人のよさを多面的にとらえ、児童理解を深める上で有効であった。 少人数授業では、学習内容やねらいによって、均等・習熟度などによるクラス編成を教師が行ったり、児童に選択させたりすることによって、一人一人の活躍の場が増え、意欲的に学習を進めることができた。単元の中で、振り返り・選択の場を重ねていくことで、適切な自己評価ができる子どもが育ってきた。 子どもたちは均等に分けた学習集団での話し合い学習において多様な考えにふれることができ、学習のおもしろさを味わい考えを深めていくことができた。その際、自力解決の場面で、児童の実態に合わせたヒントカードを活用することで、自分の考えをもって話し合いに参加することができた。 習熟度を加味した課題別学習では、習熟度の差を意識しないようコース名を配慮したり、習熟の差に応じた個別の手立てを用意することで、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができた。 教科担任制に関し、第5・6学年の児童、保護者、担当した教員とも80%以上が効果を認め、理解を示した。
(2) 教材開発の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合うよう、作業的な算数的活動や具体物を用いた算数的活動を取り入れた授業を工夫することによって、児童は意欲的に取り組み、算数に関心をもつようになった。 導入や終末の段階で、児童の生活に関連したものや身の回りの事象を教材として利用することによって、興味・関心を高めることができ、学習したことを生活の中に生かしていこうとする態度が育ってきた。 児童の実態に合わせて学習課題の難易度を分析し、適切な課題を考えていくことで、どの段階でどんな手立てが必要かが分かり、学習の理解度も深まった。

- ・ 児童の実態に合わせた教材の準備・提示・発展課題等の工夫により、学習効果が上がった。
 - ・ 単元導入時に学習計画を提示し、児童が自ら学習プランをもって授業に臨むようにしたことで、見通しをもって主体的に学習を進めていく姿勢が育ってきた。
- (3) 学力の評価
- ・ ふりかえりカードや学習日記は、発達段階に応じて評価観点等を工夫することで、自己評価力をつけ、次の学習への意欲をもたせる上で有効であった。また、教師にとっても学習状況を把握する一手段となり、授業内容の見直し・改善に活用できた。
 - ・ 複数の教師が、学習活動を想定した具体的な評価規準や手立てを共通理解して授業に臨むことにより、児童の学習状況の見取りを確かに行い、ねらいに沿った的確な働きかけをすることができた。
 - ・ 座席表と評価補助簿を有効活用することによって、学習の実現状況を把握し、次時の学習や個別指導に生かすことができた。
 - ・ 第3学年以上対象の県小学校教育研究会学力調査の結果、算数科の平均点が前年度は県平均より1.9点下回っていたが、今年度は0.9点上回った。

2. 今後の課題

算数科年間指導計画を見直し、より客観性・信頼性・妥当性のある評価規準を作成するために指導計画・指導方法等も含めた評価の共通化をめざす。
 児童一人一人が主体的に学べるような支援の在り方と指導体制を工夫し、補充的・発展的な要素も加味した教材開発を進める。
 児童の実態や単元の内容に応じた少人数授業を充実させ、基礎・基本が確実に身に付くようにする。

学力等把握のための学校としての取り組み

定期的な学力調査の実施
 県小学校教育研究会学力調査（4月実施）
 ・ 第3学年（国語・算数） ・ 第4学年～第6学年（国語・社会・算数・理科）
 全県下で実施される学力調査から、本校児童の県全体における学力の状況を把握し、今後の学習指導に生かす。
 教研式標準学力検査C R T（2月実施）
 ・ 全学年（算数）
 研究対象としている算数の学習内容の定着度を客観的に把握し、日常的に適切な指導と評価がなされていたかをとらえ、今後の研究や指導に生かす。

フロンティアスクールとしての成果の普及

公開授業
 ・ 日 時 平成15年11月21日（金）14:00～16:20
 ・ 場 所 本江小学校 各教室 体育館
 ・ テーマ 基礎・基本の定着を図るための指導と評価の在り方
 ・ 対 象 魚津市内の小中学校教員・県内フロンティアスクール指定校

広報活動
 ・ 学校だより「きらめき」（全保護者配布、公民館掲示）に【学力向上フロンティアNOW】の記事を設け、取り組みの様子や成果を保護者や地域へ普及している。
 ・ H P 上（<http://www.hongo-e.niikawa.tym.ed.jp/>）に【学力向上フロンティアNOW】のページを掲載している。

取り組みの紹介
 ・ 新潟県頸城村教育委員会からの視察（7月1日）、黒部市内小学校教務主任の夏期研修会（7月24日）、大分県日田市議会議員行政視察（1月21日）「学習の評価」に関する研修会（1月29日）において本校の取り組みについて説明し、基礎・基本の定着を目指した指導の在り方について協議した。

<p>【新規校・継続校】 【学 校 規 模】 【指 導 体 制】 【研 究 教 科】 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】</p>	<p>14年度からの継続校 13～18学級 少人数指導、T Tによる指導、一部教科担任制 算 数</p>
---	---